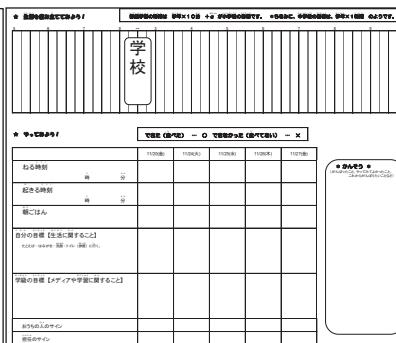


## 中学校区で一体となった生活習慣づくり

### ★ メディアコントロールの取組 ★

#### <「今市っ子カード」抜粋>

旭中校区では、小学校では「今市っ子カード」、中学校では「メディアコントロールについてのアンケート」を用いて、学習時間や就寝・起床、朝ごはんも含めて、メディアとの接触時間をコントロールし、家庭で過ごす時間を有効に活用することに取り組みました。同じような取組は、多くの中学校校区でも取り組まれました。



### ★ 「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習習慣づくり ★

二中校区では、小中で統一した家庭学習の手引きを作成しています。多くの中学校校区において、小中が連携して家庭学習の手引きを作成し、見直しを行なながら家庭学習習慣づくりに取り組みました。

#### <二中校区「家庭学習の手引き」抜粋>

学年	時間	家庭学習の内容例
小学校1年	20分くらい	☆宿題を最後までやる力を身につける ●ドリル(漢字・計算など) ●音読 ●読書
2年	20~30分	☆宿題を最後までやる力を身につける ●ドリル(漢字・計算など) ●日記(あのね帳) ●音読(国語の教科書など) ●読書
3年	30~40分	☆宿題プラス翌日の準備をする力を身につける ●ドリル(漢字・計算など) ●音読(国語の教科書など) ●国語のまとめ ●興味のあることをインターネットで調べてまとめる ●ローマ字で文作り ●国語辞典で意味調べ
4年	40~50分	☆宿題プラス自学習をする力を身につける ●ドリル(漢字・計算など) ●音読(国語の教科書など) ●国語辞典で意味調べ ●漢字・計算の予習 ●国語・社会などの新聞づくり ●興味のあることをインターネットで調べてまとめる ●ローマ字で文作り ●国語辞典で意味調べ
5年	50分~1時間	☆宿題プラス自学習をする力を身につける ●ドリル(漢字・計算など) ●音読(国語の教科書など) ●国語辞典で意味調べ ●漢字・計算の予習 ●国語・社会などの新聞づくり ●興味のあることをインターネットで調べてまとめる ●ローマ字で文作り ●国語辞典で意味調べ
6年	1時間以上	☆宿題プラス自学習をする力を身につける ●ドリル(漢字・計算など) ●音読(国語の教科書など) ●国語辞典で意味調べ ●漢字・計算の予習 ●国語・社会などの新聞づくり ●興味のあることをインターネットで調べてまとめる ●ローマ字で文作り ●国語辞典で意味調べ
中学校1年	1~2時間	☆定期テストに向けて計画立てで学習する力をつける ●教科書の音読 ●授業の予習・復習 ●漢字や計算のドリル
2年	2~3時間	☆テストに向けて自動的に学習する力をつける ●教科書の音読 ●授業の予習・復習 ●漢字や計算のドリル
3年	3~4時間	☆自分の将来を考え計画的に学習する力をつける ●教科書の音読 ●授業の予習・復習 ●漢字や計算のドリル ●3年間の復習

☆ここにあげたもの以外にも、くふうしだいいろいろな学習ができます。大切なのは、自分自身のやる気です。まずはやってみましょう。そして、本当に自分の身に付いているかどうか確認しながら進めてみましょう。

### 成 果

小中学生とともに、メディアの接触時間をコントロールしようという意識が芽生えました。保護者から児童・生徒への声かけも取り組むうえで有効でした。家庭学習の手引きは、見通しが持てるだけでなく、家庭での啓発にも役立っています。

### 課 題

全国及び島根県の学力調査における意識調査では、浜田市の小中学生のメディア接触について、TV・DVDの視聴時間やゲームをする時間は短くなっていますが、携帯・スマフォを利用する時間は年々多くなっています。家庭学習時間は少しづつ増えています。生活習慣作りにおいて、メディア接触の適切な利用は課題であるといえます。

## 学ぶ意欲を高め、夢や希望に向かって努力する子どもの育成

### ★ キャリア教育の推進 ★

二中校区や金城中校区では、小中9年間を見通したキャリア教育活動表や系統表を作成し、取り組みました。

金城中・旭中校区では、キャリア教育上の視点を意識した授業の改善と工夫を取り組み、小中学校の研究授業や研修会には互いに参加し、研修を深めました。



### ★ 学習ガイダンス ★

三中校区では、中学校での学習の特徴と心構えを小学校段階で知ることにより、現在の学習への姿勢を見つめ直し、中学校での学習に対する心構えを作るために、校区内小学校6年生を対象にした中学校生活を体験する会「学習ガイダンス」を開催しています。



#### <中学1年生から小学6年生へのアドバイス>

- ・習ったことを、自学ノートで復習する習慣を身につけておくと良いです。
- ・基本を身につけておかないと本当に苦労します。
- ・先生の話をきちんと聞く習慣をつけておいた方がよいです。
- ・わからないことを放っておくと、後で困ります。先生に聞いたりしましょう。
- ・テストでは友だちと競争しあうことになります。しっかり勉強した方がよいです。
- ・私語をせずに授業に集中する癖を、絶対に身につけた方がよい。自分が困る。

### ★ 図書館を活用した教育 ★

弥栄中校区では、各校の年間計画の整備、図書館利用表やスキル系統表の作成を行い、小中学校で共通理解を図って、読書活動、調べ学習を推進しました。付箋を使って情報を整理したり、友達の考えを聞いたり自分の考えを述べあいながら、課題解決学習を行いました。



### ★ 教師の授業力向上 ★

三隅中校区では、小中合同で教師の授業力向上を図る研修会を行いました。筑波大学附属小学校の二瓶弘行氏をお招きし、国語科の物語文の指導について研修を深めました。



### 成 果

小中が連携したキャリア教育や図書館活用教育は、小中学校の教職員が発達段階に応じた視点や目標を共有することで、目指す子ども像がとらえやすくなりました。

全国学力調査における意識調査では、「将来の夢や目標を持っている」浜田市の児童生徒の割合はこの3年間で少しづつ増えています。(H27年度 小6 : 85.6%、中3 : 74.5%)

### 課 題

各中学校区では授業改善に関する教職員の交流が行われ、連携した取組ができるようになりましたが、時間の確保が難しいという声がありました。中学校区で何が課題なのかを明らかにし、重点化して取り組んでいく必要があるといえます。

## 学校不適応を考慮し、変化に対応できる子どもの育成

### ★ 授業体験・部活動体験 ★

一中校区では、小学校6年生を対象に年2回の中学校での授業体験や部活動体験を行いました。

各中学校区では、オープンスクールや入学説明会を開催し、中学校の授業や部活動の体験を行っています。授業体験は、英語、数学が多いようです。



### ★ 小中の交流活動 ★

四中校区では、調べ学習の発表を小中合同で行いました。小学校6年生は国語科で資料を提示しながら浜田について発表し、中学校1年生は総合的な学習の時間で、地元美川のことについて調べたことを発表しました。また、夏休み中の小学校自主学習会「のびっこ学習会」に有志の中学生が参加し、学習へのアドバイスをしました。弥栄中校区では、小学校6年生と中学校1年生とで交流会を行い、英語ゲームや中学校生活の説明を行いました。金城中校区では、中学校の人権集会に小学生も参加しました。

一中校区では、小中で参考となる自学ノート交流し掲示したり、学習の成果物である科学作品・書写作品・図画作品を交流展示しました。

#### < 調べ学習発表会 >



### ★ 児童生徒の関わりに関する教職員研修 ★

浜田東中校区では、小中合同で特別支援教育に関する研修会を開催し、通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒に対しての支援体制を学びました。

四中校区では、小中合同の生徒指導研修会を開催しました。スクールカウンセラーの先生の経験談を聴いたり、ハイパーQUの分析を行ったりして、児童生徒の理解を深めました。



### 成 果

授業体験・部活動体験や小中の交流活動をとおして小学生の中学校生活等に対する不安が減少していることがアンケート結果からわかりました。いわゆる中1ギャップの解消に役立っている取組を行うことができました。不登校傾向の生徒が年々減少している中学校もありました。

### 課 題

児童生徒の支援について、小中の教職員の情報交換や共通理解がなされていますが、よりきめ細かな支援ができるようさらに連携を深めていくことが課題です。